



平成30年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 164 平成31年 3月22日発行

発行責任者 下釜 祐保

校長室の窓から

一 沈 一 珠

校 長 下 釜 祐 保



1月は「行く月」、2月は「逃げる月」、3月は「去る月」と言うらしい。今年の3月も気が付けばもう下旬。花の便りが届く季節となった。春分の日を翌日に控え長崎地方気象台は20日、全国トップを切ってソメイヨシノの「開花宣言」を行った。長崎が全国一番乗りするのは41年ぶりらしい。いよいよ、あの日本らしい桜の美しさを満喫できる時期が迫っている。

同時に、3月で忘れてならないのは、やはり「あの日」だろう。3月11日。あの日から8年。昨年末、修学旅行で福島を訪れた2年生はどのような気持ちでこの日を過ごしたであろうか。また、修学旅行でお世話になった、福島のあの方々はどのような1日を過ごされたのであろうか。手元に、岩手県沿岸被災高校と支援学校によって編纂された「祈り～東日本大震災の記録と手記～」がある。いつの頃からだろうか、毎年3月11日は、この本を手元において過ごすようになった。改めて、奪われた多くの尊い命に合掌し、被災地の一日も早い復興を祈りたい。そして、九州は少し遠いところだけど、応援ソング「花は咲く」をロずさみながら、何かひとつでも手伝えることには取り組みたいと思う。

東日本大震災の報道を見聞きする度、岩手県三陸地方の海女さんの言葉「一沈一珠（いっちゃんいっしゅ）」を思い出す。いったん海中に潜ったら、どんなに息が苦しくなっても一個の真珠貝を見つけ出すまで決して浮上しない、そうだ。

今月初日に、本校の第71回卒業式を挙行了。在校生を代表して磯崎貴宏君（2年）が卒業生へのエールを「自在の威力茲（ここ）に得て 闘わんかな秋（とき）至る」と第2応援歌を用いて送辞を述べた。これに対し、卒業生代表の清田大貴君は、両親の愛に包まれて成長し、一沈一珠だった3年間の日々を振り返りながら、「私たちは今、希望と困難が入り乱れる大海原へ、志の帆を掲げて意気揚々と漕ぎ出します」と、答辞で力強く宣誓して本校を巣立った。

そして今日は、本年度の人事異動により、本校を支え、本校の歴代の若者たちに生きる力を教授した先生方が離任される。佐南での幾多のご貢献に感謝が溢れ止まらない。「次なる任地でもご健康で、一沈一珠のご活躍を」とご期待し、涙を拭きたい。

1, 2年生もまた次なるステージに進む。間もなく新しい後輩を迎える。新たなる出会い、新たなる挑戦、そして、新たなる成長。その青春のどんな瞬間からも必ず一つの真珠貝を見つけ出していき、そういう生き方を期待して、本年度を締めくくりたい。

○新生徒会常任委員長改選

2月6日（水）に新常任委員長を決める選挙が行われました。今回は、2名の立候補者による決選投票となりました。立会演説会では、南高に対する自分の考えや思い、そして、次の世代の全校生徒で創り上げていきたい未来の南高像についての思いを言葉にして皆に訴えました。そして投票の結果、僅差で1年2組 赤城舞さんに決まりました。新生徒会は4月に始動します。佐世保南高校生徒会として様々な取り組みに挑戦し、学校をさらに良いものにしてくれるよう期待しています。



○第71回卒業証書授与式

3月1日（金）に第71回卒業証書授与式を挙行政たしました。前日には、特別表彰式を行い、県教育委員会表彰に榎津楓君、県高体連より卒業生顕彰として大川詩織さん、県高文連より卒業生顕彰として中村晴佳さんが表彰されました。

式は厳粛な雰囲気の中で行われ、卒業生代表の清田大貴君は、答辞の中で、これまでの感謝の気持ちや今後の決意を述べました。その後、全員で式歌「蛍の光」を斉唱した後、誇り高く校歌を斉唱し、会場は大きな感動に包まれました。その後、各クラスで最後のHRが行われました。

ご多用中ご臨席を賜りました来賓の皆様、保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



○外部講師による消費者教育

3月11日（月）に1学年を対象に消費者教育が行われました。これは、平成24年12月に施行された「消費者教育推進法」を受けて、学校教育の中で消費者教育の機会を確保し、生徒がより充実した教育の機会を得られるようにしたものです。これまでも、家庭科や社会科の授業の中で消費者教育は行われてきましたが、全国的に消費者トラブルは後を絶たず、悪質な手口に陥る例も数多く報告されています。加えて18歳成人制度の2022年施行が決まったことで今後ますますトラブルの発生が懸念されます。そのため、被害を未然に防ぐ知識や判断力等を身につけさせるため、消費者教育のプロをお招きし、授業を行っていただきました。

昨今、振り込め詐欺や劇場型詐欺など高齢者を対象に消費者トラブルが多いと報道されていますが、クリック詐欺など未成年者も狙われている実態があることをお話いただき、生徒たちは自分たちにも身近なこととしてとらえることができたようです。また、食品ロスによる食料問題、SNSなどスマホやパソコンを利用する上での情報モラルなど、盛りだくさんの内容を学習することができました。



講師：長崎県消費生活センター 青崎 孔 先生

（元 本校の校長先生でもあられ、佐南での授業をととても楽しみにされていたそうです。ありがとうございました。）

○百人一首大会

3月13日（水）、本校柔道場にて毎年恒例の「百人一首大会」を実施しました。日本の伝統文化である和歌に親しみつつ、競技としていかに多くの札を取れるかを競い合いました。

今年度は1年4組が優勝しましたが、各クラスとも「1年生最後の行事」ということで、チームワークを發揮し、白熱した戦いとなりました。



○後期校内大会

3月20日(水)に、後期校内大会が行われました。今回は、男子(ソフトボール、バレーボール)女子(バスケットボール、ドッジボール)の4種目が開催され、優勝目指してどの会場も白熱した戦いが繰り広げられました。クラスとしても今年度最後の行事ということで、チームワークを感じさせるプレーや互いに思いやり、応援し合う姿が多く見られました。4月から2年生は最上級生となり、1年生は後輩が入学してきます。これから、さらに魅力ある佐世保南高校へと導いてくれることを期待します。

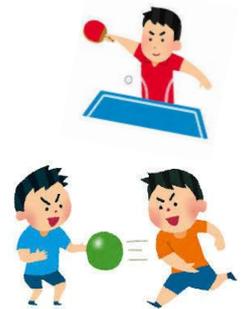
～結果～

【男子】

	ソフトボール	バレーボール
優勝	2年4組	1年1組
準優勝	2年5組	1年6組

【女子】

	バスケットボール	ドッジボール
優勝	2年2組	2年2組
準優勝	2年3組	2年3組



○今年度、離・退任される先生方の一覧です。

	【転出者】	教 頭	木 原 修 一 先生 (理科)	佐世保中央高校昼間部 副校長
		教 諭	松 本 清 子 先生 (保健体育)	松浦高校
		教 諭	野 田 隆 博 先生 (音楽)	壱岐商業高校 教頭
		教 諭	中 尾 周 平 先生 (国語)	長崎鶴洋高校
		教 諭	川 副 華代子 先生 (地歴)	県教育センター
		教 諭	松 田 健 佑 先生 (数学)	西陵高校
		教 諭	長 池 将 希 先生 (英語)	奈留高校
		教 諭	富 永 美 紀 先生 (理科)	大崎高校
		事 務	松 本 友 紀 先生	ろう学校

	【退職者】	講 師	朝 永 恵 子 先生 (書道)	退職
		講 師	秋 月 直 剛 先生 (英語)	壱岐高校
		事 務	川久保 由紀子 先生	退職